

2022年9月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+26.7	立 川 店	+0.4
堺 店	+8.0	大 宮 店	+8.5
京 都 店 ※	+18.8	柏 店 ※	+10.3
泉 北 店	+5.1	(株)高島屋各店計	+20.3
日 本 橋 店	+20.3	岡 山 高 島 屋	+12.3
横 浜 店 ※	+17.9	岐 阜 高 島 屋	+30.0
新 宿 店	+39.4	高 崎 高 島 屋	+13.3
玉 川 店	+6.3	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+20.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

■ 概況

○9月度の店頭売上は、緊急事態宣言の影響を受けていた前年の反動に加え、高額品が好調であったことから、前年実績を上回りました。なお、2019年比は、同年10月の消費増税前の駆け込み需要の影響を受けております。

店頭売上	前年比 +20.1%	2019年比 △25.3%
免税売上	前年比 +153.0%	2019年比 △54.2%
免税を除いた店頭売上	前年比 +18.0%	2019年比 △23.6%

○店舗別売上では、全店が前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、食堂が前年実績を上回りました。